

平成26年度

決算報告書

国立大学法人 鳴門教育大学

平成26年度 決算報告書

国立大学法人鳴門教育大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	3,617	3,652	35	(注1)
施設整備費補助金	80	96	16	(注2)
船舶建造費補助金	-	-	-	
補助金等収入	19	19	0	
国立大学財務・経営センター施設費交付金	25	25	-	
自己収入	743	762	19	
授業料、入学料及び検定料収入	662	671	9	(注3)
附属病院収入	-	-	-	
財産処分収入	-	-	-	
雑収入	81	91	10	(注4)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	112	126	14	(注5)
引当金取崩	-	-	-	
長期借入金収入	-	-	-	
貸付回収金	-	-	-	
目的積立金取崩	15	15	-	
計	4,611	4,695	84	
支出				
業務費	4,375	4,220	△ 155	(注6)
教育研究経費	4,375	4,220	△ 155	
診療経費	-	-	-	
施設整備費	105	121	16	(注7)
船舶建造費	-	-	-	
補助金等	19	19	0	
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	112	128	16	(注8)
貸付金	-	-	-	
長期借入金償還金	-	-	-	
国立大学法人財務・経営センター施設費納付金	-	-	-	
計	4,611	4,488	△ 123	
収入－支出	-	207	207	

○予算と決算の差異について

(注1) 運営費交付金については、主として、特別経費が措置されたため、予算額に比して決算額が35百万円多額となっています。

(注2) 施設整備費補助金については、主として、災害復旧費が措置されたため、予算額に比して決算額が16百万円多額となっています。

(注3) 授業料、入学料及び検定料収入については、主として、志願者及び入学者が増加したため、予算額に比して決算額が9百万円多額となっています。

(注4) 雑収入については、主として、科学研究費補助金間接経費が増加したため、予算額に比して決算額が10百万円多額となっています。

(注5) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、主として、国及び国以外からの受託事業の受入が増加したため、予算額に比して決算額が14百万円多額となっています。

(注6) 業務費については、主として、運営費交付金を財源とする業務達成基準適用の予算を翌年度へ繰越したことや、教育研究経費において経費の削減に努めたため、予算額に比して決算額が155百万円少額となっています。

(注7) (注2)に示した理由等により、予算額に比して決算額が16百万円多額となっています。

(注8) (注5)に示した理由等により、予算額に比して決算額が16百万円多額となっています。
また、決算額128百万円には、前年度以前における寄附金の繰越額を当年度に執行した金額3百万円を含んでおります。